

第5回松山市地域振興構想策定懇話会 議事要旨

■日時・場所

日時： 令和7年3月16日(日) 13:30～15:30

場所： 松山市男女共同参画推進センター5階 大会議室

■出席者

別添「出席者名簿」のとおり

■議事内容

※松山市地域振興構想シンポジウムと兼ねて開催

1. 開会

2. あいさつ(事務局)

3. 松山市地域振興構想について

- 事務局より地域振興構想について、実践編をもとに説明。

4. フィールドミュージアムアカデミー久谷カレッジ成果報告

- 愛媛大学院卒業生及び愛媛大学社会共創学部 of 学生よりフィールドミュージアムアカデミー久谷カレッジの成果を報告。

5. 意見交換・交流・発表タイム

- 4. フィールドミュージアムアカデミー久谷カレッジ成果報告や地域振興構想の各地域のめざすまちの姿や実現に向けた方針、目標等に関して参加者同士で交流。それを受けて懇話会構成員から以下のとおり発言があった。
 - ・構想に掲載している内容について、地域に持ち帰ってまちづくりの参考にしていきたい。
 - ・約10年前に三津浜地区の活性化計画を策定して地域振興の取組を進めたことで、一定成果が出たと思っている。今後は新しい構想とこれまでの成果を踏まえながらまちづくりに取り組み、地域への発信も行っていきたい。本日のシンポジウムにより、交流が進むきっかけとなればいい。
 - ・新しい構想をもとに久谷のPRを様々な方面で行い、認知度向上を行っていきたい。久谷カレッジの成果報告にあった研究報告書や文化資源のみどころハンドブックは、自分たちとは異なる大学生の視点・切り口でまとめられており、今後の久谷のまちづくりで活用していきたい。
 - ・久谷カレッジは一定の成果が生まれたと思っている。文化資源や自然環境など地域資源のレベルが高かったこと、また、住民の地域への想いが強く、企画力・実行力が極めて高かったことが大きな要因として挙げられる。
 - ・構想に書かれた事例をその通り実行すればまちづくりが必ず成功するとは限らない。人も地域も得意なことを行うことで、生きがいをもって楽しく生活することができ、地域の活性化につながっていくのではないかな。

6. その他・閉会

■会議風景

